

5 組織運営

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント	
学校の課題を明確にして、特色ある学校運営を計画的・組織的に行っている	前期	おおむね良好	おおむね良好	今年度中に不登校事案を解消できなかったことは残念であるが、成果が現れるまでには時間を要することでもある。学校の組織的な対応や関係機関との連携もしっかり行われているようなので、今後も粘り強く支援を続けて欲しい。 二中との小中連携が工夫されており効果的だと思う。今後は、学校再編も視野に入れて、小・小の連携でも一層の充実を目指して欲しい。	
	年度	おおむね良好			
評価指標			主な取り組み		自己評価B
					前期
⑨課題に対応した特色ある学校運営			教育目標の明示、評価結果の公表、PDCAサイクルを生かした改善 調和のとれた教育課程の編成、ねらいに即した学校行事の運営		4
⑩自己有用感を高める生徒指導の充実(不登校ゼロ)			学級づくり、教育相談・児童理解、児童を語る会、問題行動への対応		3
⑪個に応じたきめ細やかな学習指導(学力検査で個々が前年以上)			学力検査の分析と個別指導、チャレンジテスト・県単元評価テストの活用 パワーアップタイム		3
⑫指導力を高める研修の充実			校内研究の推進、授業のユニバーサルデザイン化、研修成果の共有化		3
					年度

学校の改善策	【前期→後期】
	<p>⑨学校教育グランドデザインを見直し、教育目標と評価の一層の一体化を図った。また、経営戦略会議を開催しSWOT分析によって、本校の課題を全職員で確認しあった。</p> <p>⑩不登校児童1名に対して、複数の教員でチーム対応をしている。関係機関とも連携を進めてきたが、今後も連携をとりながら支援を継続していく必要がある。</p> <p>⑪全職員によるNRT分析、全国学テ分析をおこなったが、個別指導では十分に対応し切れていな面もある。今後、パワーアップタイム等を充実させ、回復指導を図っていききたい。</p> <p>⑫ユニバーサルデザインの視点を生かした支援は、どの学級・授業でも意識的に取り組むことができた。お互いに学び合う研修を今後も深めていきたい。</p>
	【後期→次年度】
	<p>⑨本校の教育課題を「自己有用感・自尊感情の高揚」「コミュニケーション能力(合意形成能力)」と焦点化し、分掌部においてもこの課題を解決するための方策を検討することで全職員が同方向を目指す取り組みと成ってきた。しかし「誰が・いつまでに・どのように・どの程度まで」に関しては、より具体的な改善プランを構築する必要がある。</p> <p>⑩児童理解・教育相談は丁寧にかつ組織的に進めてきている。学校だけで対応が難しい場合は、積極的に関係機関との連携も進めてきた。不登校児童の状況は改善の兆しも見えているが、焦ることなく長期的な展望をもちながらも、その時々々に最善と思われるアプローチを組織的に継続していききたい。</p> <p>⑪各種学力検査で大きく伸びた児童がいる一方で、昨年度より達成率を下げている児童もおり、個人差が大きい。伸び悩んでいる児童に対して、学習に向かう姿勢・意欲を育てるより細やかな指導が必要である。</p> <p>⑫校内研究では、ワークショップ型の協議会を通して研修を深めることができた。ユニバーサルデザインの視点を生かした支援についても全学級で取り組むことができた。</p>

【各種データ】

保護者アンケート

⑬ 教職員の対応は迅速で丁寧である。

前期		後期	
平均	肯定率	平均	肯定率
3.4	98	3.5	97

職員個人評価

	前期		後期	
	平均	肯定率	平均	肯定率
⑨ 教育目標の明示、評価結果の公表、PDCAサイクルを生かした改善 調和のとれた教育課程の編成、ねらいに即した学校行事の運営	3.6	100	3.6	100
⑩ 学級づくり、教育相談・児童理解、児童を語る会、問題行動への対応	3.3	100	3.6	100
⑪ 学力検査の分析と個別指導、チャレンジテスト・県単元評価テストの活用、パワーアップタイム	3.1	100	3.3	100
⑫ 校内研究の推進、授業のユニバーサルデザイン化、研修成果の共有化	3.2	100	3.2	100
	3.5	100	3.5	100

自己評価A及び外部評価の評価区分	
○きわめて良好	
○良好	
○おおむね良好	
○やや不十分	
○努力を要する	

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／達成率80～90%、前年度比103～107%
3	実現状況は概ね良好／達成率60～79%、前年度比98～102%
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50～59%、前年度比93～97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下